

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	なかよし保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成28年10月27日

総 評	<p>「なかよし保育園」は、昭和47年に設立、平成2年に宇治市黄檗の住宅街に移転され、約40年の歴史を持っています。</p> <p>第三者評価は、平成19年から受診し、今回が3回目の受診になります。近隣は自然が多く、恵まれた環境の中「外遊びを中心とした保育」という保育方針の通り、広い園庭や子どもが活動し易い保育室、分園との兼ね合いを考慮して、より良い保育園運営を目指しています。</p> <p>また、保育内容については、担当者、職員からの発案により保育課程・運動遊びの見直しなど、改善・充実に向けて一人ひとりの子どもに丁寧な保育実践となるよう心がけています。</p> <p>卒園した子どもや保護者が、卒園後のつながりを大切にするを目的に、園内には卒園記念の個人作品等がたくさん飾られています。さらに園で行っている子育て支援活動、及び近隣の公園で行われている子育てサークル活動への協力など、地域と共に歩む保育に努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は、職員に対して、子どもの参観や体調不良時の通院、看病に使える休みを設け、子育てと保育園勤務の両立を目指した働きやすい職場づくりに努めています。今年度から、職員間の、健康保健係を設置し、一人ひとりの健康管理把握を充実させています。 ・給食担当者と保育士との連携を深め、食育内容を充実する取り組みを行っています。さらに、その内容は保育課程に反映させると共に、保護者へ可視化するよう取り組んでいます。 ・小学校、民生委員・児童委員、地域の高校などの専門機関と連携した上で園行事を実施し、分園で行っている子育て支援活動と合わせて、園の保護者と地域の親が、利用し易い育児支援に繋がっています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに3回の第三者評価受診実績があります。担当者は自己評価をし、話し合いや相談等半年という長い期間をかけて取り組まれました。しかし、一部ばらつきのあった評価項目については、話し合いを深め、課題を明確にすると共に問題意識を共有し、改善に取り組まれるとなお良いでしょう。 ・乳児の睡眠時危機管理に関して、午睡中の目配りや、子どもの様子を把握されています。ただし、その内容について記録を行っていません。SIDS対応マニュアルを基にチェック表等に、子どもの様子・確認時刻等実施内容を記録し、外部に示せるものを作成されると、より良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

【保育所版】 評価結果対比シート

受診施設名	なかよし保育園
施設種別	保育所
評価機関	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成28年10月27日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	B	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	B
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-2 (2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	B
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	B
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-2 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

- ・保育の理念、基本方針・目標を明文化し、「なかよし保育園菜」やパンフレット「なかよし保育園の概要」に記載されています。また、保育理念から保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができます。
- ・保護者や職員間での基本理念理解への周知を進められていますが、保育園から地域への働きかけは、理念等や保育園で行っている活動等を周知するなど今後の検討課題部分も見られます。
- ・保育課程の定期的な見直しを実施しています。それらは写真を多く使い、掲示、多くの方に見えるような形に工夫されています。
- ・保育課程に則して、全クラスが年度毎に保育テーマを決めて、保育計画・指導計画を策定しています。特に、運動に関しては「なかよしキッズ活動」として月2回実施し、保育士・職員からの意見を反映し、内容の充実を図り、実践に取り組んでいます。
- ・人材育成については、面談票や職務分担表等を活用し、更なる人事体制の充実を図られると良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A
		③ 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		② 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
		③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	B	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	B

【自由記述欄】

・管理者は、職員に対して、子どもの参観や体調不良時の通院、看病に使える休みを設け、子育てと保育勤務の両立を目指した働きやすい職場づくりに努めています。今年度から、職員間の、健康保健係を設置し、一人ひとりの健康管理把握を充実させています。

・保育士・職員は希望に応じて研修に参加し、保育技術・スキルの向上に努めています。今後は、一人ひとりの職員に対して個別研修計画を作成し、評価分析を行うと共に、研修計画・受講成果を次の計画に活かすと良いでしょう。

・小中高生の体験学習を受け入れたり、敬老の日に合わせて近隣の高齢者施設の敬老会に出演したりと、施設への訪問を15年以上行なっています。多世代交流、地域活動に毎年取り組んでいます。今後は、それらの取り組み内容を記録して発信するなど、可視化に努められると良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	B
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	B	B
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

・これまでに3回の第三者評価受診実績があります。担当者は自己評価をし、話し合いや相談等半年という長い期間をかけて取り組まれました。しかし、一部ばらつきがあった評価項目については、話し合いを深め、課題を明確にすると共に問題意識を共有し、改善に取り組まれると素敵だと思います。

・サービス実施の記録が適切に行われ、定められた手順に従ってアセスメントを行なっています。各保育室に「行事予定」「職員紹介」「なかよしだより」「じょうぶなからだ」「健康たより」「献立表」が掲示され利用者を尊重したサービスの提供が行われています。

・掲示物や連絡、給食の展示などが、玄関フロアに集約されており、サービスを提供するための工夫を行っています。

・パンフレット・葉に、利用に関しての内容が記載されています。特に葉は、園の保育に対する想いや保護者をお願いする事項が記載されています。変更が生じた内容は、その変更理由や内容を具体的に表記すれば、より判りやすくなるでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	B
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	B
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

【自由記述欄】

- ・健康管理に関しては、一人ひとりに「健康記録ノート」があり、結果について、保護者や職員に伝達しています。また、それを職員間で共有し保育に反映させています。
- ・自然物を使った作品や子どもの描いた絵、卒園児の作品が園舎内や園庭に飾られています。高い場所に飾られた掲示物は、もう少し子ども目線にされると、より見やすいでしょう。
- ・プランターで米や野菜を栽培し、食材に興味をもたせたり、給食材料の下準備や手伝いを行うなど「食育」に取り組んでいます。また、それらの内容については、写真やコメントで紹介しています。
- ・給食担当者と保育士との連携を深め、食育内容を充実する取り組みを行っています。さらに、その内容は保育課程に反映させると共に、保護者へ可視化するよう取り組んでいます。
- ・表現・制作活動、リトミック等にも様々な取り組みがなされていますが、活動を見直したり、記録をとられたりすると、より相応しい保育内容となることでしょう。
- ・乳児の睡眠時危機管理に関して、午睡中の目配りや、子どもの様子を把握されています。ただし、その内容について記録を行っていません。SIDS対応マニュアルを下にチェック表等に、子どもの様子・確認時刻等実施内容を記録し、外部に示せるものを作成されると、より良いでしょう。
- ・オムツ交換を保育室床で行っていました。バスタオルやオムツ交換シート等を活用し、衛生面や心地よさに配慮されるとなお良いでしょう。
- ・保育士を加配し、障害児保育のための環境を整備しています。専門機関との連携を持ち、児童の就学に向けての生活を個別に記録しています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	B
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・ 苦情解決の仕組みは整えられていますが、苦情を把握するために、従来各自独自の様式で処理されていましたが統一した様式があるとより良いでしょう。重要事項説明書や園舎の掲示板などに第三者委員を周知することが望まれます。

・ 年2回（6月、1月）、各年齢ごとの個人懇談会が開催され、保護者との連携を密にとるよう努力しています。

・ 虐待予防に関するマニュアル整備を求めます。園は児童虐待を比較的発見しやすい施設です。マニュアルに基づく研修を実施すれば、より虐待予防に意識が高まるでしょう。

・ 小学校、民生委員・児童委員、地域の高校などの専門機関と連携した上で園行事を実施し、分園で行っている子育て支援活動と合わせて、園の保護者と地域の親が、利用し易い育児支援に繋げています。

・ 平成22年4月に分園あいあいを本園から徒歩6分の所に開設し、一時預かり事業や子育て支援事業に積極的に取り組んでいます。分園環境を本園在園児も活用し、保育内容の多様性を生み出しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]

・ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、その対応方法についても全職員に周知しています。マニュアルの見直し・確認は、今後多くの職員とともに定期的な検討が加えられるとお良いでしょう。

・ 事故安全防止に関して、マニュアルを作成し、記録の整理を行っています。今後は、記録内容を職員間で共有し、事故防止に向けた取り組みを実際に行われるとお良いでしょう。